

単体施設だけでなく自施設の魅力を高めるためサウナを充実させる温浴施設や宿泊施設、アウトドア施設も多く、開発意欲は衰えを見せていない。競合化が進むなか、いま求められる施設づくりの要諦を徹底解説!

サウナ施設の 事業化計画と運営実務資料集

予約受付中!

著者

第1～3編 佐竹善仁 BAUNA(株) 代表取締役
第3編 古屋蔵人 (株)TOYOKE 代表取締役社長
曾山祐企 (株)TOYOKE
柴田健太郎 (株)TOYOKE

●定価104,500円(本体95,000円)
●A4判/縦型/約100頁

今だけ

1割引!

予約特価 **94,050円**(本体85,500円)

※予約特価は2026年2月13日までにお振込みいただいた方に限ります。

2026年2月中旬発刊予定

本書の特徴

- 1 サウナのマーケット動向や近年の施設タイプ・開発傾向とともに、海外サウナのトレンドについても解説
- 2 施設タイプごとの投資規模・収益化のポイントを整理。さらに2タイプ(パブリックサウナ・プライベートサウナ)の施設計画および事業収支プランから競合に打ち勝つ施設づくりの要諦を詳解
- 3 利用者層のターゲティングや安全・衛生を重視した管理計画など、顧客から支持される施設づくりのためのノウハウを開示
- 4 先進事例の運営実態から顧客獲得・定着と収益アップの取組みを探る。サウナビジネス成功のポイントを解説

編集内容

第1編 サウナ・温浴マーケットの動向

1. 施設数
2. 利用者数
3. 市場規模
4. サウナ施設の開発動向
5. 海外サウナ施設の潮流とトレンド

第2編 開発計画

1. 開発与件の整理
 - (1) 立地与件
 - (2) サウナタイプ
ドライサウナ(セルフロウリュ・オートロウリュ)/スチームサウナ/ミストサウナ/その他
 - (3) 施設タイプにみる事業構造
 - ①パブリックサウナ
 - ②プライベートサウナ
 - ③温浴施設付帯型(スーパー銭湯、銭湯)
 - ④宿泊施設付帯型(ホテル・旅館、キャンプ場)
 - ⑤アウトドアサウナ

(4) 開発体制・フロー 2. 開発計画

(1) 施設計画(※パブリックサウナ、プライベートサウナの2タイプについて解説)

①前提与件(利用者数/価格帯/規模/提供機能・サービス/面積配分/施設デザイン・意匠)、②施設配置計画(ゾーニング、客動線、バックヤード動線)、③ウエットゾーン(サウナ/水風呂・シャワー/休憩スペース/浴室/岩盤浴等)他サービス機能/脱衣所・ロッカー/洗面・パウダーコーナー/トイレ)、④ドライゾーン(エントランス/下足ロッカー/フロント/売店/レストラン/休憩所/リラクゼーション等/トイレ/事務所・倉庫・機械室等/駐車場

(2) サウナ設備・施工計画

①サウナ(ストーブ・熱量・制御システム、熱源・コスト、ベンチ、壁材・天井材・内装材・断熱材、給排気、排水口、照明、オートロウリュ)、②水風呂・その他浴槽・シャワー・クールルーム・ア

イスファウンテン、③休憩スペース・外気浴・内気浴・デイベッド、④施工計画・安全管理等

(3) 事業収支モデルプラン

①パブリックサウナ、②プライベートサウナ

※前提条件/投資計画/収入計画/支出計画/収支モデル

第3編 運営計画

1. 管理計画
 - (1) 組織体制
 - (2) 設備管理
 - (3) 安全・衛生管理
2. 運営計画
 - (1) 広告・PR計画
 - (2) イベント・集客計画

第4編 事例研究

3～4事例を掲載予定

*編集内容は一部変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。